愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	虎岩 朋加	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この演習では、学校の中の多様性という観点から、多文化、ジェンダーやセクシュアリティ、特別なニーズなどをめぐる教育実践や教育制度を考察する。外国にルーツを持つ子どもや、ジェンダー、SOGI、特別なニーズなどに関してどのような教育研究が行われてきたのか研究成果を学び、多様性と教育について多角的に検討する。一人一人の子どもたちが、自分自身に偽りのない在り方で共に生きることができるようにするためには、教育には何ができるのかを考察するとともに、多様性をめぐって実際の保育・教育現場が直面する課題を学ぶことを目的とする。全体による対面授業と個別のオンライン授業とを併用させて研究指導を行う。なお、オンデマンド授業時の質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式を中心に、講義や、発表、ディスカッション、グループワークなどを取り入れて学習活動を進める。4回程度リモート授業を実施する可能性がある。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション、学期の学びの目標の提示、演習への参加の仕方、授業計画の説明などを行う。	□
第2回	多文化と教育研究（１）	多文化と教育に関する論点を整理する。	□
第3回	多文化と教育研究　（２）	多文化と教育に関する教育研究の成果から学び、考察のための分析的視点を獲得し、議論する。	□
第4回	ジェンダーと教育研究（１）	ジェンダーと教育に関する論点を整理する。	□
第5回	ジェンダーと教育研究　（２）	ジェンダーと教育に関する教育研究の成果から学び、考察のための分析的視点を獲得し、議論する。	□
第6回	SOGIと教育研究	SOGIに関する論点を整理した上で、関連する教育研究の成果から学び、考察のための分析的視点を獲得し、議論する。	□
第7回	特別なニーズと教育研究	特別なニーズの子どもたちに関する論点を整理した上で、関連する教育研究の成果から学び、考察のための分析的視点を獲得し、議論する。	□
第8回	質的調査の手法（１）インタビュー調査	質的調査の手法のうちインタビュー調査の手法を学ぶ。	□
第9回	質的調査の手法（２）フィールドワーク	質的調査の手法のうちフィールドワークの手法を学ぶ。	□
第10回	調査の実践（１）観察・聞き取り	観察や聞き取りなどの調査を実際に行い記録をとる	□
第11回	調査の実践（２）観察・聞き取り	観察や聞き取りなどの調査を実際に行い記録をとる。	□
第12回	調査の記録と分析（１）記録の整理	調査の記録を整理し、データ分析のための準備を行う。	□
第13回	調査の記録と分析（２）データの読み取り	整理された記録から、発見を読み取る。	□
第14回	調査の振り返り	発見を共有し多様性と教育に関して多角的に検討する。	□
第15回	調査の総合的検討	これまでの教育研究の結果とも比較しながら、検討結果を討議して総合的な観点から考察する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

求められている課題に関する情報収集、資料探索などにより事前学習を進める（2時間程度）。また、課題に関して行う助言やフィードバックを取り入れ、情報収集に軌道修正を図ることで、事後学習を展開する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は、文献の読み取りと論点整理、情報収集と記録、記録の整理と発見の読み取り、および、総合的検討とまとめのレポート作成である。文献の論点整理に関しては、授業の中で、フィードバックや議論を行う。また、まとめのレポート作成への途上で、ピアレビューやフィードバックを行う。まとめのレポートにはコメントを付し、返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	現代の保育や教育の現場が直面する課題や問題について、多角的な視点から的確に答えることができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	現代の保育や教育の現場が直面する課題や問題について、的確な分析枠組みを持って分析することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	現代の保育や教育の現場が直面する課題について、それに取り組む方策を主体的に考え、他者と共有することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

文献の論点整理、情報収集、まとめのレポートなど

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特に指定しない。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	参考図書はそのつど紹介する。参考資料は必要に応じて配布する。	
2		
3		
4		
5		